

平成24年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成23年度対象)

平成24年11月
人吉市教育委員会

目 次

〈はじめに〉	1
人吉市教育委員会委員名簿(平成24年11月20日現在) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)	
1 教育委員会の活動及び運営状況	2
(1)教育委員会の概要	2
教育委員会の目的	2
人吉市教育委員会委員(平成23年度の教育委員)	2
(2)教育委員会の主な活動内容	2
教育委員会の活動状況	2
教育委員会会議	3
①会議の開催状況(平成22年度実績)	3
②審議状況	3
教育委員の活動	3
①教育委員の所管施設訪問状況	3～5
(3)評価・課題	5～6
2 点検評価の目的	7
3 学識経験者の知見の活用	7
○学識経験者	7
4 点検評価の対象	8
○人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業	8
5 点検評価の結果	8
(1)点検評価シートの見方	9～10
(2)事業の評価基準	11
(3)総合評価基準	11
(4)点検評価シート	
目次	12
学校施設の耐震化・大規模改修事業	13～14
夏休み・放課後パワーアップ教室	15～16
特別支援教育支援員配置事業	17～18
食育推進事業	19～20
学校支援地域本部事業	21～22
“いで湯と球磨焼酎・笑顔の里”第9回ひとよし春風マラソン大会	23～24
史跡人吉城跡保存整備事業	25～26
人吉城歴史館特別展	27～28
犬童球溪顕彰音楽祭	29～30
図書館まつり	31～32
〈教育方針〉	33

<はじめに>

人吉市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たすため、平成23年度事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表するものです。

人吉市教育委員会

人吉市教育委員会委員名簿

(平成24年11月20日現在)

委員長	山 本 泰 弘
委員 (職務代理者)	馴 田 順 子
委員	宮 山 惇
委員	末 次 美 代
委員 (教育長)	堀 秀 行

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 教育委員会の活動及び運営状況

(1) 教育委員会の概要

<教育委員会の目的>

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会の基本理念として、地方公共団体における教育行政は、教育基本法の主旨にのっとり、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならないとなっている。

本市においては、人吉市教育基本方針を大きな柱とし、人吉市教育目標を定め、さらに学校教育、社会教育、文化振興、スポーツ振興の観点から努力目標を掲げ、教育委員会委員を中心に高い使命感を持って、市民の意向を反映した責任ある教育行政が実現できるように努力している。

<人吉市教育委員会委員（平成23年度の教育委員）>

役職名	氏名	就任	任期満了
委員長	大園 武義 (平 23. 6. 30 満了)	平成17年7月1日	平成23年6月30日
	山本 泰弘 (平 23. 7. 1 就任)	平成10年4月10日	平成26年4月9日
委員（職務代理者）	馴田 順子	平成21年1月1日	平成24年12月31日
委員	宮山 惇	平成21年10月1日	平成25年9月30日
委員	末次 美代	平成23年7月1日	平成27年6月30日
委員（教育長）	堀 秀行	平成21年7月1日	平成25年6月30日

(2) 教育委員会の主な活動内容

<教育委員会の活動状況>

教育委員会の活動としては、教育委員5名で、小学校7校、中学校3校、計10校の学校訪問を行い、教育現場の声を活かした教育行政を推進してきた。

また、教育委員として、平成24年1月に社会教育関係の行政視察研修を福岡県朝倉市の馬田公民館にて行った。研修で朝倉市の先進的な取り組みを見聞し、今後地域コミュニティの発展に向けて本市教育委員会がこれから果たすべき役割を再認識するとともに、教育委員としての見識を深めることができた。

教育委員会の運営としては、教育委員会会議を年15回開催し、審議事項41件、報告・協議等50件について審議・協議を行い、今後取組むべき事業の方向性を決定した。

更に、「広報ひとよし」を利用し、定例の教育委員会等への傍聴の呼びかけを行い、開かれた教育委員会を目指している。

<教育委員会会議>

①会議の開催状況（平成23年度実績）

会議	開催数	傍聴者数
定例会	12回（月1回）	22人
臨時会	3回	0人

②審議状況

（ア）付議案件数

議案	41件
報告・協議等	50件

（イ）会議に付された主な案件

- ・人事案件について
- ・教育委員会の点検及び評価について
- ・教育方針について
- ・後援願の承認について
- ・規則・要項の制定及び改正について
- ・奨学生の決定について
- ・一般会計予算について
- ・教科用図書の採択について
- ・人吉っ子アドバイザーの委嘱について
- ・人吉市学校運営協議会委員の任命について

（ウ）協議事項

- ・教育委員会の運営状況について
- ・田野小学校の今後について

<教育委員の活動>

①教育委員の所管施設訪問状況

（ア）学校訪問

区分	対象	期日	教育委員出席状況
小学校訪問	7校	平成23年6月～11月	延べ35人
中学校訪問	3校		延べ15人

(イ) 他の主な会議・行事等

会議・行事等	期日	教育委員 出席状況
教職員辞令伝達式	平成23年4月1日	5名
小中学校入学式	平成23年4月	述べ8名
人吉城歴史館特別展	平成23年4月29日、10月12日	述べ9名
おどんな日本一全国少年剣道大会	平成23年4月30日、5月1日	4名
第52回人吉市民早起きソフトボール大会	平成23年5月9日、25日、6月16日、 25日	述べ4名
人吉市体育指導委員協議会総会	平成23年5月13日	1名
中学校体育大会(2校)	平成23年5月15日	2名
大畑小第三中学校合同運動会	平成23年5月15日	1名
県市町村教育委員会連絡協議会定例会	平成23年5月16日	2名
第63回全国都市教育長会議定期 総会並びに研究大会岐阜大会	平成23年5月26日～27日	1名
小学校運動会(5校)	平成23年5月29日	5名
人吉市人権教育推進連絡協議会 総会・研修会	平成23年5月31日	1名
学校訪問(各小中学校 計10回)	平成23年6月～11月	各5名
人吉市学校給食センター運営委員会 常任委員会	平成23年7月15日 平成24年3月15日	2名
人吉市学校給食センター運営委員会 総会	平成23年7月15日 平成24年3月15日	2名
犬童球溪顕彰音楽祭協議会	平成23年7月22日	2名
人吉球磨児童による童話発表大会	平成23年7月24日	1名
人吉球磨人権教育研究協議会研究大会	平成23年7月27日	1名
夏休みパワーアップ教室(閉講式)	平成23年7月29日	5名
熊本県学校給食研究協議大会	平成23年7月29日	1名
犬童球溪顕彰音楽祭個人コンクール	平成23年8月20日	1名
第9回九州地区市町村教育委員研修大会	平成23年8月25日	5名
伊佐市・人吉市親善交流剣道大会	平成23年9月25日	1名
小学校運動会(1校)	平成23年9月30日	1名
校区民体育祭(※東校区除く5校区)	平成23年10月2日、16日、23日 (3校区)	5名
第25回熊本県市町村教育長研修大会	平成23年10月6日～7日	1名
放課後パワーアップ教室(開講式)	平成23年10月11日	5名
県教育庁並びに県退職校長会と市町村教育 委員会連絡協議会教育長部会との懇談会	平成23年10月28日	1名

人吉球磨総合美展	平成23年10月29日	2名
おどんな日本一！人吉のど自慢大会	平成23年10月30日	1名
人吉文化祭	平成23年11月5日	1名
犬童球溪顕彰音楽祭(碑前祭・学校発表会)	平成23年11月11日	3名
第58回人吉駅伝大会	平成23年12月11日	1名
第59回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会	平成23年12月18日	1名
アドベンチャースクール「水泳教室&焼き芋作り」	平成23年12月23日	1名
人吉市成人式	平成24年1月3日	5名
平成23年度市町村等新任教育委員研修会	平成24年1月30日	1名
平成23年度熊本縣市町村教育委員大会	平成24年1月30日	5名
教育行政視察研修(福岡県朝倉市)	平成24年1月30日～31日	5名
人吉球磨学校給食研究協議大会	平成24年2月3日	1名
ひとよし春風マラソン大会	平成24年2月19日	2名
図書館まつり(読書感想画コンクール表彰式)	平成24年2月25日	3名
田野小閉校式	平成24年3月4日	5名
小・中学校卒業式	平成24年3月	述べ8名
学校給食納入業者指定書交付式	平成24年3月28日	1名

(3) 評価・課題

- ①教育委員の任期満了に伴う交替（女性委員の増）などにより、新たな人的体制による教育委員会の活性化を図る条件が整えられた。
- ②今年度においても教育委員と市長で懇談の機会を設け、教育委員会と市が目指す方向性を確認するとともに整合性を図りながら教育行政を展開した。
- ③教育委員会内の問題点や課題に対する認識を深めることを目的に、教育委員会会議以外にも独自に教育委員同士での意見交換や議論の場を持ち、情報を共有しながら課題解決に努めた。
- ④教育委員会会議の開催については、市広報での掲載で市民の傍聴を促しているが、本年度においても少数の来場しかみなかった。今後は点検・評価などの公表などにより、教育委員会の活動状況や教育関連の情報を積極的に発信していくことが重要と考える。
- ⑤田野小学校については、平成24年3月をもって休校することとなったが、教育委員自ら地域に出向き、地元住民の意見を聴取しながら協議・検討を重ね、地元住民の要望を最大限尊重することができた。

⑥中学校の教科用図書の採択に関しては、順調に採択作業が終了したところであるが、他の地区では採択のための運営をどうしていくかということについて課題を残した。今後、文科省による検討も行われると考えるが、教育委員会としても出来るだけ早期に考えを取りまとめて、どう対処していくのかが肝要である。

⑦学校の備品関係においては、ICT教育機器の導入を先進的に行っている。今後は教師の情報活用能力の育成が不可欠であり、機器を最大限に利活用しながら、引き続き教育情報化の推進に努めたい。

⑧放課後パワーアップ教室については、マンパワーを活かして更に発展させるため、学力充実支援員の配置を行った。今後も学習サポーター及びサポーター補助の協力も得ながら、子どもたちが意欲的に学習に取り組めるように継続し、「確かな学力」の向上に繋げていきたいと考えるが、学習サポーター等の新たな確保も課題の一つである。

⑨二中校区の学校支援地域本部事業は、支援員の好意的な活動によって児童生徒と地域住民がふれあう機会が増え、また校務の負担が軽減されるなど、社会教育を推進していく上で非常に有意義な事業であり、その取組みが評価され、文部科学省から表彰を受けた。

2 点検評価の目的

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成20年4月から施行されました。法改正の目的「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして「教育委員会の点検評価」が位置づけられています。

教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

3 学識経験者の知見の活用

点検評価の客観性を確保するために「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることとなっています。

委員会では、広い観点からの知見の活用を図るため、担当課が行った点検評価の結果について3名の学識経験者から様々なご意見、ご助言をいただき、そのご意見等を参考にしながら教育委員会の点検評価を行ったところです。

○学識経験者

長船 法文（おさふね のりふみ）氏 市PTA連絡協議会会長
黒木 明子（くろき あきこ）氏 元高等学校教諭
神瀬 文夫（こうのせ ふみお）氏 元教育次長

4 点検評価の対象

平成24年度に点検評価を行う事業は、平成23年度の人吉市教育基本方針に基づき教育委員会が実施した主要な10事業としました。

○人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業

課 名	点 検 及 び 評 価 を 行 う 事 業
教 育 総 務 課	学校施設の耐震化・大規模改修事業
学 校 教 育 課	「夏休み・放課後パワーアップ教室」
	特別支援教育支援員配置事業
	食育推進事業
社 会 教 育 課	学校支援地域本部事業
	“いで湯と球磨焼酎・笑顔の里” 第9回ひとよし春風マラソン大会
歴 史 遺 産 課	史跡人吉城跡保存整備事業
	人吉城歴史館特別展
市 民 文 化 課	犬童球溪顕彰音楽祭
	図書館まつり

5 点検評価の結果

教育委員会においては、学識経験者の知見の活用を図りながら、平成23年度までの行政評価システムに沿って、4項目の観点から事業評価を行い、今後の方向性を示す点検評価を行いました。

平成24年度点検評価シート

(10事業)

(1)点検評価シートの見方

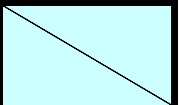
点検評価シート (評価対象:平成23年度事業)

1 事業名	教育委員会が行った事務事業名													
2 担当部課名	担当課名				担当者名		-							
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称						
		事業の目的に合致した第5次総合計画における政策名称			事業の目的に合致した第5次総合計画における施策名称									
4 誰のために行うか〔受益者〕	誰のために行う事業なのか													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	事業の実施により誰を、どのような状態にしたいのか(意図・ねらい・コンセプト)													
6 事業の実施内容(平成23年度の進捗含む)	事業の全体概要と平成23年度の進捗状況													
7 平成23年度に実施した方向性からの改善	23年度事業実施における改善策													
8 活動指標	指標名		単位		説明			目標値の設定内容						
	事業の実施内容を意識しながら、実施した事業量(活動量)を表す指標				指標の補足説明(指標の算出式等)			学校施設耐震化年次計画に基づき実施した棟数						
9 成果指標	事業を実施する事によって生じる市民の満足度を表す指標				同上			同上						
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H22年度(実績)		H23年度(実績)		H24年度		H25年度		H26年度		H27年度	
		実績値			上に設定した指標の23年度の目標値と実績値		24年度以降の目標値については仮置きの数値であって正式な数値ではありません。		-		-		-	
		<達成度>	-		-		-		-		-		-	
	(2) 成果指標	目標値			上に設定した指標の目標値と実績値		24年度以降の目標値については仮置きの数値であって正式な数値ではありません。		-		-		-	
		実績値			-		-		-		-		-	
		<達成度>	<0%>		-		-		-		-		-	
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	~													
	総事業費													
	千円													
	合計		0千円		0千円		0千円		0千円		0千円		0千円	
	財源内訳	① 国庫補助金												
		② 県補助金												
③ 起債														
④ その他														
⑤ 一般財源		0		0		0		0		0		0		
12 活動一単位当たりのコスト	-		-		-		-		-		-			

(1) 点検評価シートの見方

<p>平成24年度以降の改善 13等を踏まえた事業の内 容</p>	<p>評価の結果において明らかになった問題点や改善する必要が認められた事項に対する今後の具体的な改善策等の案</p>		
<p>14 平成25年度以降の事業 の方向性</p>	<p>方向性</p>	<p>チェック</p>	<p>左の「方向性」を選択した理由</p>
<p>①拡大</p>		<input type="checkbox"/>	<p>評価の結果を踏まえて、平成25年度以降における当該事業の「方向性」及び「その方向性を選択した理由」</p>
<p>②現状維持</p>		<input type="checkbox"/>	
<p>③縮小</p>		<input type="checkbox"/>	
<p>④廃止</p>		<input type="checkbox"/>	
<p>⑤完了</p>		<input type="checkbox"/>	
<p>⑥移管</p>		<input type="checkbox"/>	

<p>学識経験者の意見</p>	<p>教育に関し学識経験を有する者の意見</p>
-----------------	--------------------------

<p>事業の評価</p>	<p>必要性</p>	<p>有効性</p>	<p>達成度</p>	<p>効率性</p>	<p>総合評価</p>	
<p>教育委員会における事業評価と総合評価(評価基準についてはP11のとおり)</p> <p>教育委員会における意見</p>						

(2) 事業の評価基準

	評 点				
	4	3	2	1	0
必要性	(事務事業に対する市民ニーズ・妥当性・緊急性について)				
	行政が関与する事業で妥当性も緊急性もある	行政が関与すべき事業で妥当性はあるが緊急性はない	行政が関与すべき事業で妥当性はないが緊急性はある	行政が関与すべき事業だが妥当性も緊急性もあまりない	行政が関与する必要はない
有効性	(上位施策の目的達成に対する事務事業の貢献度について)				
	高い	やや高い	やや低い	低い	
達成度	(成果及び事業の実績の目標に対する達成状況や満足度について)				
	指標が適切で目標どおり達成している	概ね達成している	あまり達成していない	目標、計画値の設定が曖昧。実績値を把握していない	
効率性	(費用対効果としてコスト改善について)				
	高い	やや高い	やや低い	低い	

(3) 総合評価基準

区分	評価結果に基づく改善等の内容
A	計画どおりに事業を進める（拡充を含む）ことが適当（現状どおり管理・運営を進めることが適当）
B	事業の進め方の改善の検討（利用率向上等の改善の検討）
C	事業規模・内容または実施主体の見直しの検討（施設運営主体の見直しの検討）
D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討（休・廃止を含めた施設のあり方の検討）

(4) 点検評価シート（P 13～P 32）

目 次

平成24年度 点検及び評価

- 1、学校施設の耐震化・大規模改修事業(教育総務課)…… 13～14
- 2、夏休み・放課後パワーアップ教室(学校教育課)…… 15～16
- 3、特別支援教育支援員配置事業(学校教育課)…… 17～18
- 4、食育推進事業(学校教育課) …… 19～20
- 5、学校支援地域本部事業(社会教育課)…… 21～22
- 6、“いで湯と球磨焼酎・笑顔の里”
第9回ひとよし春風マラソン大会(社会教育課)…… 23～24
- 7、史跡人吉城跡保存整備事業(歴史遺産課)…… 25～26
- 8、人吉城歴史館特別展(歴史遺産課)…… 27～28
- 9、犬童球溪顕彰音楽祭(市民文化課)…… 29～30
- 10、図書館まつり(市民文化課)…… 31～32

点検評価シート （評価対象：平成23年度事業）

1 事業名	学校施設耐震化・大規模改修事業														
2 担当部課名	教育総務課					担当者名		—							
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称							
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし				2	学校教育の充実							
4 誰のために行うか〔受益者〕	市内各小中学校の児童・生徒、教職員及び学校施設を利用する一般市民														
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	大規模地震に耐え得る施設補強整備を施し、老朽化している施設内部の大規模な改修を行うことにより、安全で安心な教育環境の整備と災害時の避難場所としての機能強化を図るもの。														
6 事業の実施内容（平成23年度の進捗含む）	学校耐震化については、平成17年度から優先度調査、二次診断、実施設計、補強工事の順に事業を進めている。平成23年度においては、事業を前倒しし、人吉東小と中原小の耐震補強及び大規模改修事業（平成22年度予算23年度施工）を実施した。さらに、耐震補強が必要な学校施設で1校残っていた人吉西小について、交付金の決定を受け、耐震補強及び大規模改修事業に取りかかった。（平成23年度予算平成24年度工事施工） ※11 事業年次計画は予算ベース														
7 平成23年度に実施した方向性からの改善	学校施設の耐震化は、東日本大震災などからみて、緊急性があると判断し、平成23年度中に学校施設環境改善交付金の申請を行い、財源を確保して事業を前倒して、事業計画での完了年度を1年早めた平成24年度中に学校耐震化率100%になるよう事業の加速化を図った。														
8 活動指標	指標名		単位	説明				目標値の設定内容							
	耐震工事等実施棟数		棟	当該年度で実施予定棟数				平成24年度までに完了するように計画した各年度の棟数							
9 成果指標	学校耐震化率		%	（耐震化済棟数＋改修の必要が無い棟数）／全棟数				全棟数のうち耐震性がある棟数の割合							
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H22年度(実績)	H23年度(実績)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度							
		実績値	4	1	—	—	—	—							
		<達成度>	<100.00%>	<100.00%>	—	—	—	—							
	(2) 成果指標	目標値	98	100	—	—	—	—							
		実績値	98	100	—	—	—	—							
		<達成度>	<100.00%>	<100.00%>	—	—	—	—							
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費			
	～		耐震補強	141,359	耐震補強	7,549	防水設計	1,281	施設改修	94,975	防水改修等	33,600	給水改修	60,000	
	総事業費		施設改修	164,720	施設改修	66,262	給水設計	1,053	給水改修等	51,410	プール改修	105,000	プール改修	105,000	
							プール改修	11,376	防水改修	18,000	給水改修	45,000			
	合計			306,079千円		73,811千円		13,710千円		164,385千円		183,600千円		165,000千円	
	財源内訳	① 国庫補助金			135,905		27,508				47,884		50,000		55,000
		② 県補助金													
		③ 起債			148,200		34,700		8,500		87,300		100,200		82,500
		④ その他													
		⑤ 一般財源			21,974		11,603		5,210		29,201		33,400		27,500
12 活動一単位当たりのコスト				76,519.8千円		73,811.0千円									

平成24年度以降の改善13等を踏まえた事業の内容	平成24年度をもって、学校施設耐震化は完了するが、各学校施設は建設後相当の年数が経過しているものが多く、今後は耐震補強が必要でなかった学校の大規模な内部改修や屋根防水、水道管の敷設替え、老朽化が進むプールの改修など、学校施設の長寿命化を図るための改修・改善を実施する予定である。		
14 平成25年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input checked="" type="checkbox"/>	耐震化事業は完了したものの、学校施設の老朽化は予想以上に進行しており、児童・生徒の安全、安心を確保するために、今後もさらに改修・改善が必要となるため、学校施設環境改善交付金等を活用して財源を確保しながら、計画的に大規模改修事業を進める必要性がある。
	②現状維持	<input type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
⑥移管	<input type="checkbox"/>		

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校は災害時の避難所となることもあるので、今後も計画的に老朽化した施設の整備を進めてほしい。授業の場のみを想定するのではなく、(避難所となるなど)用途に合わせた改修を考えてほしい。 ・ トイレの改修については、全てを洋式化するのではなく、和式も残すべきであると思います。 ・ これから老朽化する施設の補強・改修を進めながら、市内小中学校の耐震化を図っていく計画を高く評価します。 ・ 24年度にて終了100%の耐震化率に感謝いたします。ただ、耐震工事がなかった学校、校舎については、早急に改善すべき事案も多数ありますので、優先順位を明確にして予算内でできる最善策をお願いします。

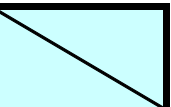
事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	3	A	
耐震化については計画どおり完了したが、今後も老朽化の進む学校施設・備品等については、安全性保持のために今後も交付金等を活用し、計画的に整備を継続していく必要がある。						

点検評価シート (評価対象:平成23年度事業)

1 事業名	夏休み・放課後パワーアップ教室												
2 担当部課名	学校教育課					担当者名		—					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称					
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし				2	学校教育の充実					
4 誰のために行うか〔受益者〕	市内小学校3年生(夏休み)、4・5・6年生(放課後)												
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	市内小学校3・4・5・6年生の基礎学力の定着と向上を図り、学習意欲を高めたい。												
6 事業の実施内容(平成23年度の進捗含む)	教員免許を持つ学習サポーターと保護者・地域住民などの学習サポーター補助が、夏休みパワーアップ教室において、夏休み期間に7日間、1日につき2時間、市内の全小学校3年生の希望児童191人を対象に指導した。また、放課後パワーアップ教室において、10月から翌年3月までの期間、放課後1時間活用して、4年・5年・6年児童合計402人を対象に指導した。												
7 平成23年度に実施した方向性からの改善	夏休みパワーアップ教室に加え、新たに放課後パワーアップ教室の実施に伴い、受講人員が大幅に増加し、またその実施期間を1年としたことにより、その準備や運営に相当の時間と労力を必要とすることから、学力充実支援員7人を雇用了。												
8 活動指標	指標名		単位	説明			目標値の設定内容						
	学習日数		日	計画された開催日数			参加者全員の出席すべき総日数						
9 成果指標	参加子ども満足度		%	参加した子どもアンケートによる満足度			85%						
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H22年度(実績)	H23年度(実績)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度					
		実績値	1,296	8,145	18,354	18,000	18,000	18,000					
		<達成度>	1,194	7,740	—	—	—	—					
	(2) 成果指標	目標値	<92.13%>	<95.03%>	—	—	—	—					
		実績値	85	85	85	85	85	85					
		<達成度>	80	89	—	—	—	—					
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	
	～		報償費等	383	報償費	1,837	報償費	9,240	報償費	9,240	報償費	9,240	
	総事業費			共済費	227	共済費	1,393	共済費	1,393	共済費	1,393	共済費	1,393
	千円					需用費	100	需用費	100	需用費	100	需用費	100
	合計		383千円	2,064千円	10,733千円	10,733千円	10,733千円	10,733千円					
	財源内訳	① 国庫補助金											
		② 県補助金											
		③ 起債											
		④ その他											
		⑤ 一般財源		383	2,064	10,733	10,733	10,733	10,733				
12 活動一単位当たりのコスト	0.3千円		0.3千円										

平成24年度以降の改善 13等を踏まえた事業の内容	学力充実支援員の資質等の向上を図るために研修等を実施し、また、学習サポーター及び学習サポーター補助の数の充実を図り、それぞれの子どもに即したきめ細かい指導を行っている。		
14 平成25年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input type="checkbox"/>	パワーアップ教室の目的を達成するために、学習サポーター・学習サポーター補助及び学力充実支援員との協議や、受講児童及び保護者のアンケートを実施して、より安定的に、充実した運営を図るための努力を行っているところであることから現状維持が好ましい。
	②現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
⑥移管	<input type="checkbox"/>		

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> この事業の内容が昨年度からさらに拡大したことは、その必要性がいかに大きいかを示しています。年間を通して実施される「放課後パワーアップ教室」の活用については、学力充実支援員の資質の向上を図りながら、子どもの学力向上に繋がるものにしていただきたいです。 2年目に入り、子どもと保護者の感想、意見を聞くと好評だと判断します。他地域の関係者の方から(この事業を)尋ねられたこともあり、県内の学校及び行政からも注目されていることと思います。 この事業の成果、アンケート結果を含め、保護者(PTA)への説明、報告、依頼をお願いしたいと思います。 放課後パワーアップ教室はぜひ継続していただきたい。学校支援地域本部事業と連携できないか(サポーターの数の面で厳しさはあるかもしれないが)。これを活用できれば予算の縮減も、教員の負担減にもなる。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	
子どもたちの「確かな学力」の定着のために大変有効な事業であり、学校、保護者からも大変好評である。今後は事業効果のチェックも行い、児童が更に意欲的に学習に取り組めるよう工夫しながら継続していく必要がある。						

点検評価シート (評価対象:平成23年度事業)

1 事業名	特別支援教育支援員配置事業														
2 担当部課名	学校教育課						担当者名			—					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称						
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし					2	学校教育の充実						
4 誰のために行うか〔受益者〕	小中学校の児童・生徒及び教職員														
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	発達障害等の様々な障害のある児童・生徒を適切に支援するために、特別支援教育支援員を学校に配置することにより、特別支援教育の充実を図りたい。その結果、学級担任の負担軽減に伴い他の児童へも配慮した安定した学級経営をめざしたい。														
6 事業の実施内容(平成23年度の進捗含む)	特別支援教育支援員は、学校長の指揮監督の下に担当教諭と協力し、発達障害等のある児童・生徒に対して、学校生活上の介助・学習指導上の支援等を行っている。また、対象となる児童・生徒は年々増加傾向にあることから、特別支援教育支援員を1名増員し、人吉東小学校に4人、人吉西小学校に3人、東間小学校に2人、大畑小学校に1人、西瀬小学校に3人、中原小学校に2人、第三中学校に1人の計16人を配置することにより、きめ細かな支援が可能となった。勤務条件は年220日以内、週5日以内の29時間以内で従事した。														
7 平成23年度に実施した方向性からの改善	特別な支援を必要とする児童・生徒への支援を更に充実させるため、児童・生徒の個に応じた対応ができるよう、特別支援教育支援員の資質を更に向上させるため研修会の内容を検討するとともに回数を増やす。														
8 活動指標	指標名			単位		説明			目標値の設定内容						
	特別支援教育支援勤務日数			日		特別支援教育支援員の必要度を測定			勤務日数上限220日とした						
9 成果指標	—			—		—			—						
10 指標値	(1) 活動指標	目標値		H22年度(実績)		H23年度(実績)		H24年度		H25年度		H26年度		H27年度	
		実績値		3,300		3,520		3,520		3,300		3,300		3,300	
		〈達成度〉		3,259		3,462		—		—		—		—	
	(2) 成果指標	目標値		〈98.76%〉		〈98.35%〉		—		—		—		—	
		実績値		—		—		—		—		—		—	
		〈達成度〉		〈0%〉		〈0%〉		—		—		—		—	
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費		
	～		報酬		19,554		報酬		20,778		報酬		21,120		
			社会保険料		2,796		社会保険料		3,153		社会保険料		3,182		
	総事業費		2,982		2,982		2,982		2,982		2,982		2,982		
	千円		22,350		23,931		24,302		22,782		22,782		22,782		
	合計		22,350千円		23,931千円		24,302千円		22,782千円		22,782千円		22,782千円		
	財源内訳	① 国庫補助金													
		② 県補助金													
		③ 起債													
		④ その他													
⑤ 一般財源		22,350		23,931		24,302		22,782		22,782		22,782			
12 活動一単位当たりのコスト	6.9千円			6.9千円											

平成24年度以降の改善 13等を踏まえた事業の内容	特別支援教育支援員の資質や能力向上のための研修を充実する。また、校内における関係担当者間の連携や市教育委員会と学校との連携を密にした特別支援教育の充実を図る。		
平成25年度以降の事業 14の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input type="checkbox"/>	発達障害等を持つ児童・生徒が年々増加の傾向にあることから、個に応じた特別支援教育の重要性と現場教諭や保護者から特別支援教育支援員の増員配置の要望が強くなっている。但し、事業予算が全額市費であり、高額負担となることから、市財政事情を考慮すると、現状維持を選択せざるを得ない。特別支援教育の充実を図るうえで、特別支援学級への適正な就学指導等により、現在の人的体制の中で安定的な学校経営を目指していきたい。
	②現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
⑥移管	<input type="checkbox"/>		

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園、保育園、小学校との連携を更に深め、幼児期からの体制もこれから必要になると思います。 ・ 増加傾向にある発達障害等を持つ児童・生徒への支援として、この支援員の配置が23年度に1名増員されたことを有難く評価します。 ・ 近年多発しているいじめの問題も、先生方の目の届きにくいところで起こることも多く、支援の先生方の気配り、目配りがあれば防ぐこともできるのではと思われます。この事業は将来を担う子どもの育成のためにも続けていかなければならないのではないのでしょうか。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	
<p>特別支援の対象となる児童・生徒は年々増加の傾向にあり、個に応じた支援も多様である。この事業は安定的な学校経営のために不可欠な事業であり、今後も関係機関との連携を図りながら継続していく必要がある。</p>						

点検評価シート (評価対象:平成23年度事業)

1 事業名	食育推進事業												
2 担当部課名	学校教育課						担当者名			—			
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称				
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし					2	学校教育の充実				
4 誰のために行うか〔受益者〕	小中学校児童・生徒												
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	「食育」という言葉が注目されている背景には、食生活を取り巻く社会環境の変化に伴い、朝食欠食など子どもの食生活の乱れや肥満傾向などの健康問題が見られる。成長期にある子どもにとって、健全な食生活は健康な心身を育むために欠かせないものであると同時に、将来の食習慣の形成にあたって大きな影響を及ぼす。そのため、成長期にある子どもへの食育を推進することで、健やかに生きるための基礎を培い、食への感謝の心を育てながら、食事の重要性や食文化への理解を深める。												
6 事業の実施内容(平成23年度の進捗含む)	学校の食育推進について中心的な役割を果たす栄養教諭による、給食時間の学校訪問や食育に関する授業の実施。また、家庭や地域との連携といった観点から試食を通じた食育の推進や、双方向の情報交換ができるように工夫した「ふるさと球磨さんだより」「給食だより」の発行。23年度は合わせて17回の発行回数である。栄養教諭の派遣については、23年度も年間活用計画に基づき実施し、年間で65.3時数の実績を上げている。												
7 平成23年度に実施した方向性からの改善	栄養教諭の派遣実績については、実施時数、予定時数に対する実施率とも前年度を上回っているが、成果指標は結果的に前年度を下回った実績となった。しかしながら、栄養教諭活用後の学校側から、一様に「子どもたちの食に対する関心は、間違いなく高まっている」という声を頂いており、学校側からの評価も頗る高評価である。												
8 活動指標	指標名		単位	説明				目標値の設定内容					
	栄養教諭の派遣回数(時数)		h	市内全校を対象に規則正しい食習慣の指導を目的とした食育支援回数				人吉市食育推進委員会での栄養教諭等活用計画					
9 成果指標	毎朝朝食を食べる子ども		%	毎朝朝食を食べる小中学生の割合				市健康増進計画では毎朝朝食を食べる割合が小学生は85%、中学生は86%以上が目標。					
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H22年度(実績)	H23年度(実績)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度					
		実績値	72	74	68	68	68	68					
		<達成度>	60	65.3	—	—	—	—					
	(2) 成果指標	目標値	86	86	86	86	86	86					
		実績値	<83.33%>	<88.24%>	—	—	—	—					
		<達成度>	85.8	82.1	—	—	—	—					
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	
	～												
	総事業費												
	千円												
	合計		0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	財源内訳	① 国庫補助金											
		② 県補助金											
③ 起債													
④ その他													
⑤ 一般財源		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
12 活動一単位当たりのコスト			0.0千円	0.0千円									

平成24年度以降の改善 13等を踏まえた事業の内容	栄養教諭の派遣について、学校給食記念月間の1月に集中して学校からの依頼があるため、栄養教諭に負担がかかっていたが、1月の活用集中については、H22年度比-3.7hとなり、若干ではあるが改善されている。今後も派遣の実施時期や実施時数等について学校の配慮を頂きながら、学校給食を「生きた教材」と捉え、栄養教諭の専門的な知識を活用することで、更なる実績値の向上を目指す。また地域の食材にも目を向け、地場産品の利活用にも力を入れ、新たな地場農産物の納入について模索する。		
14 平成25年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input checked="" type="checkbox"/>	平成23年に策定された人吉市健康増進計画・食育推進計画の中でも謳ってあるとおり、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校においても積極的に食育に取り組んでいくことが重要となっている。そのため、今後も栄養教諭の派遣制度を活用し、食に関する指導のより一層の充実を図ることとする。
	②現状維持	<input type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
⑥移管	<input type="checkbox"/>		

学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食生活の基盤は家庭生活にあるが、学校においても給食時間を利用して食に関する授業を実施していただいていることを評価します。 ・ 朝食を食べることの大切さを家庭にも伝えていくことも大切なので、家庭教育講演会等においても、その事に重点を置いた内容にしていただくことを要望します。早寝、早起き、朝ごはんのスローガンがいつも家庭で実施されること大切さを保護者に伝えてほしい。 ・ 食育については、全国PTA組織でも常に問題になっています。人吉市が取り組むこの事業はありがたく考えております。事業拡大という意味で保護者向けの食育講演会を学校単位で行っていただければと思います。学校と家庭と両方で行う食育推進を目指していただきたいと思います。
----------	--

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	3	4	4	B	
<p>生活環境が多様化する中、子どもたちの健やかな発育のためには、食についての正しい知識と食習慣を身につけることが重要であり、継続的に必要な事業である。食育については引き続き栄養教諭を積極的に活用し、また家庭教育という観点からも関係部署と連携しながら保護者への啓発を行うなど、学校と家庭の両面からの推進に努めていくことが必要であるとする。</p>						

点検評価シート (評価対象:平成23年度事業)

1 事業名	学校支援地域本部事業														
2 担当部課名	社会教育課					担当者名		—							
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称							
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし				1	社会教育の推進							
4 誰のために行うか〔受益者〕	市内小中学校の児童・生徒及び教職員														
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	地域ぐるみで学校の教育活動を支援することにより、教員や地域の大人が子どもと向き合う時間の増大、地域の教育力の向上を図る。														
6 事業の実施内容(平成23年度の進捗含む)	平成20年度から文部科学省の委託事業として始めた本事業も平成23年度からは県の補助事業として継続。地域教育コーディネーターを配置することにより、学校と学校支援ボランティアの連携を図り、特別活動や環境整備の支援を行ってきており、さらに教科、総合学習での実習支援など支援の領域も広がり、地域教育力の活性化が促進された。														
7 平成23年度に実施した方向性からの改善	学校支援活動が盛んになり、一人のコーディネーターでの対応が困難となってきており、学校支援ボランティアの更新・拡大と並んで、コーディネーターの複数配置を重要課題として検討。														
8 活動指標	指標名		単位	説明			目標値の設定内容								
	学校支援活動回数		回	学校支援活動回数			複数の学校で同じ支援活動を実施することが可能であるため増								
9 成果指標	学校支援活動受益者(児童・生徒)数		人	児童・生徒数(のべ人数・概数)			平成21年度実績を基に活動回数の増を勘案し設定								
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H22年度(実績)	H23年度(実績)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度							
		実績値	300	300	300	350	350	400							
		<達成度>	345	297	—	—	—	—							
	(2) 成果指標	目標値	<115.00%>	<99.00%>	—	—	—								
		実績値	18,000	18,000	18,000	21,000	21,000	24,000							
		<達成度>	19,900	17,800	—	—	—								
		<110.56%>	<98.89%>	—	—	—									
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費			
	H20 ~		報酬	1,212	報酬	1,212	報酬	1,212	報酬	2,424	報酬	3,636	報酬	4,848	
	総事業費		印刷等	307	消耗品	12	消耗品	12	消耗品	12	消耗品	12	消耗品	12	
	千円		使用料等	355	印刷製本	72	印刷製本	72	印刷製本	72	印刷製本	72	印刷製本	72	
	合計		1,874千円		1,296千円		1,296千円		2,508千円		3,720千円		4,932千円		
	財源内訳	① 国庫補助金													
		② 県補助金				800		730		730		730		730	
		③ 起債													
		④ その他		1,874											
		⑤ 一般財源		0		496		566		1,778		2,990		4,202	
12 活動一単位当たりのコスト	5.4千円		4.4千円												

平成24年度以降の改善 13等を踏まえた事業の内容	学校支援ボランティアの数、支援活動の件数・内容も広がりを見せているが、平日の昼間の活動が主となるため、ボランティアの構成は60歳代以上が多く、無理なく活動を継続するには、多くの人材を確保しておくことが重要である。また学校側の要請を掘り起こすためにも地域教育コーディネーターを増員し、きめ細やかな対応が必要となっている。		
14 平成25年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input checked="" type="checkbox"/>	学校支援活動は、二中校区で着実な実績を上げており、この事業の効果を他の校区に広めることは有用と考えられ、そのためには複数のコーディネーターの配置と学校支援ボランティアの更新・増員により事業の拡大を図りたい。
	②現状維持	<input type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
	⑥移管	<input type="checkbox"/>	

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の社会科見学等については特に成果が上がっているように思います。 ・ 二中校区以外の中学校区においても早い時期に実施していただきたい。また、三中のような小規模校区では、内容の検討が必要と思います。 ・ 地域の絆、家庭の教育力(躰)の低下が見られる中で、地域ぐるみで組織的に教育活動を支援していただき、落ち着いた学校生活を送れるのではないかと評価しています。 ・ 地域教育コーディネーターと支援ボランティアの方々の確保がこれからの課題。

事業の評価	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	
<p>地域の連帯感が形成され、かつ住民の知識・経験が活かされる素晴らしい事業であり、支援活動の内容も広がっていることで学校における校務負担も軽減されている。人材の確保など課題はあるが、地域教育力の向上のためにも事業拡大の方向で継続的に取り組んでいく必要がある。</p>						

点検評価シート （評価対象：平成23年度事業）

1 事業名	“いで湯と球磨焼酎・笑顔の里”第9回ひとよし春風マラソン											
2 担当部課名	社会教育課					担当者名			—			
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称				
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし				1	社会教育の推進				
4 誰のために行うか〔受益者〕	マラソン大会参加者											
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	観光キャンペーン「人吉球磨は、ひなまつり」で賑わう中心市街地や、人吉城跡、清流球磨川を眺めながら走るコースを設定し大会を開催。市民はもとより市外・県外からの参加者に本市の魅力を感じていただき、スポーツ振興を図るとともに、地域の活性化にもつなげる。											
6 事業の実施内容（平成23年度の進捗含む）	平成23年度第9回ひとよし春風マラソンは、ふるさと歴史の広場を会場に、(株)ワコール女子陸上競技部の福士加代子選手と樋口紀子選手、吉本タレント間寛平さんを招待し開催した。参加者増加を目指して、キャンペーン活動やテレビ告知を行い、その結果、申込者数が前大会を約1,200名上回る過去最多の5,139名で郡市外からの参加も多かった(郡市外参加者:66%)。参加者全員に振舞われる郷土料理「つぼん汁」、薪で蒸す赤飯、ぜんざいは例年好評であり、球磨郡市の温泉施設の協賛により実施した温泉無料開放には2,993名の利用があった。											
7 平成23年度に実施した方向性からの改善	基本的に本事業の方向性の修正は無いが、アンケート調査を行い、大会運営の質の向上に努めている。											
8 活動指標	指標名		単位	説明			目標値の設定内容					
	マラソン大会PR場所数		箇所	PRを実施した場所数			前大会時実績の5%増					
9 成果指標	マラソン大会エントリー数		人	申込エントリー者数			平成23年度まで=前大会実績の5%増、それ以降=現状維持					
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H22年度(実績)	H23年度(実績)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度				
		実績値	195	283	386	386	386	386				
		<達成度>	270	368	—	—	—	—				
	(2) 成果指標	目標値	<138.46%>	<130.04%>	—	—	—	—				
		実績値	3,432	4,166	5,395	5,395	5,395	5,395				
		<達成度>	3,968	5,139	—	—	—	—				
		<115.62%>	<123.36%>	—	—	—	—					
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	H20 ~		補助金	4,500	補助金	4,500	補助金	6,000	補助金	4,500	補助金	4,500
	総事業費											
	千円											
	合計		4,500千円		4,500千円		6,000千円		4,500千円		4,500千円	
	財源内訳	① 国庫補助金										
		② 県補助金										
③ 起債												
④ その他												
⑤ 一般財源		4,500		4,500		6,000		4,500		4,500		
12 活動一単位当たりのコスト	16.7千円		12.2千円									

平成24年度以降の改善 13 等を踏まえた事業の内容	テレビ・ラジオなどマスメディアを活用した情報発信を行い多くの参加者を募る。また、参加者の満足度向上のため、より一層の「おもてなし」に努めリピーターの多い大会を目指していく。さらに、組織においては、「おもてなし部」等7つの部を設置し、市全体の取り組みとして体制の充実と連携を図る。		
14 平成25年度以降の事業 の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input type="checkbox"/>	第9回大会参加者の約66%が人吉球磨管外で、約42%が県外参加者である。市民の健康づくりや陸上競技の振興はもとより、地域活性化や経済波及効果も期待できる事業になってきていることから、今後さらに本市ならではの魅力を活かした大会として受入体制の充実に努め、参加者の満足度向上を図っていく。 熊本市の熊本城マラソンと本市大会が同日開催となり、今後も同日開催が予想されるが、本市の独自性をさらに活かした大会として差別化を図り内容の充実に努めていく。
	②現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
	⑥移管	<input type="checkbox"/>	

学識経験者の意見

- ・ 今後においても特色あるマラソン大会として続けてもらいたい。
- ・ 参加人数が増えるのは大変良いことだと思いますが、おもてなしの人達の確保、後継者の育成も考えていく必要があるのではないのでしょうか。
- ・ 23年度はタレント間寛平氏を招待し、これまでの最高の参加者であり、賑わいでした。大物ゲストに頼ることなく中身で勝負することを目標に、お城まつり、おくんち、春風マラソンを人吉市の3大イベントとして、市民全体で取り組むイベントへ発展することを望みます。
- ・ 「おもてなし」を一番に県外から多数の参加者を募る大会を目指していただきたいと思います。
- ・ 人吉のPRになり地域の活性化になる事業だと思います。4,000名前後の参加者数を維持するために、現在のおもてなし、温泉の活用は大きな目玉となっている。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A

回を重ねる毎に参加者は増加し、本大会は地域活性化の一翼を担っていると評価できる。今後は観光振興策と協調しながらリピーター確保に努め、市民が一丸となって進めていくことが求められる。次回以降も郷土料理でのおもてなし、温泉の活用など人吉の特色を生かした大会として継続することが必要である。

点検評価シート (評価対象:平成23年度事業)

1 事業名	史跡人吉城跡保存整備事業													
2 担当部課名	歴史遺産課					担当者名		—						
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称						
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし				4	歴史遺産の保存と活用						
4 誰のために行うか〔受益者〕	市民及び史跡来訪者													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	史跡来訪者には史跡としての人吉城を体感してもらい、市民にとっては心の拠り所となり、さらに市民が積極的に活用できる史跡づくりを目指す													
6 事業の実施内容(平成23年度の進捗含む)	昭和36年の国史跡指定以降、国・県の助成を得て保存修理事業を進め、昭和59年度の『史跡人吉城跡保存管理計画書』策定以降は、計画書に基づきながら整備を行ってきた。今後は、平成22年度に策定された『史跡人吉城跡保存管理計画書第2版』に基づきながら、緊急性・優位性の高い事業を優先して実施していく。平成23年度は平成21年度から継続の園路整備工事を実施し、無事完了した。													
7 平成23年度に実施した方向性からの改善	平成23年度は、平成22年度策定の「保存管理計画書第2版」に基づき、今後の実施計画についての立案を行なった。													
8 活動指標	指標名		単位	説明			目標値の設定内容							
	整備進捗率		千円	平成21年度までの1,199,946千円を基準として年度毎の実績額を加算			総事業費1,500,000千円							
9 成果指標	人吉城跡来訪者数		人	平成19年度～前年度までの人吉城歴史館入館者数平均値を100%として			平成19年度～平成22年度までの入館者数平均 15,274人							
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H22年度(実績)	H23年度(実績)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度						
		実績値	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000						
		<達成度>	1,213,087	1,231,312	—	—	—	—						
	(2) 成果指標	目標値	<80.87%>	<82.09%>	—	—	—	—						
		実績値	16,203	15,274	14,921	14,921	14,921	14,921						
		<達成度>	12,489	13,508	—	—	—	—						
			<77.08%>	<88.44%>	—	—	—							
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費				
	H20 ~		発掘調査	7,211	整備関連	18,225	整備関連	8,700	整備関連	3,136	整備関連	10,489	整備関連	50,542
	総事業費		整備関連	2,349					発掘調査	7,890	発掘調査	8,500	発掘調査	4,000
			保存管理	3,581					移転補償	18,298				
	合計		13,141千円		18,225千円		8,700千円		29,324千円		18,989千円		54,542千円	
	財源内訳	① 国庫補助金	6,553		8,998		4,350		20,151		9,494		27,271	
		② 県補助金			899						524		2,527	
		③ 起債												
		④ その他												
		⑤ 一般財源	6,588		8,328		4,350		9,173		8,971		24,744	
12 活動一単位当たりのコスト	0.0千円		0.0千円											

平成24年度以降の改善 13 等を踏まえた事業の内容	阻害要因はなく、今後も修理修復・整備を主として緊急性・必要性の高い事業が複数待機している状況であり、継続して鋭意事業を展開していく。		
14 平成25年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	① 拡大	<input type="checkbox"/>	史跡人吉城に関連する事業としては、これまでも昭和36年の国指定時から、継続して緊急性・優位性の高い事業を実施してきており、今後も引き続き事業を展開していくことが望ましい。
	② 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	
	③ 縮小	<input type="checkbox"/>	
	④ 廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤ 完了	<input type="checkbox"/>	
	⑥ 移管	<input type="checkbox"/>	

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後においても計画的に進めてもらいたい。 ・ 保存管理は行政の仕事、という意識で市民の意識また興味を感じられない。市民全体で未来にこの宝を残そうという気持ちになれる事業であるべきと思います。 ・ 史跡来訪者に史跡としての人吉城を体感してほしい。また、市民にとって心の拠り所となるようにどのようにしたら良いかを考えていくことも大切。国史跡なので規制があり厳しいと思いますが、休憩所などの設置は如何でしょうか。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	4	A	
人吉城跡は、永らく後世まで保存整備を継続していく必要のある重要な歴史遺産であり、今後も補助金等を活用しながら計画的に保存・整備を継続する必要がある。						

点検評価シート (評価対象:平成23年度事業)

1 事業名	人吉城歴史館特別展											
2 担当部課名	歴史遺産課					担当者名			—			
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称				
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし				4	歴史遺産の保存と活用				
4 誰のために行うか〔受益者〕	市民、来訪者											
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	特別展の充実や講座の開催等により、人吉城歴史館を歴史文化の発信源とし、加えて人吉球磨の歴史文化を学び知るための拠点とする。											
6 事業の実施内容(平成23年度の進捗含む)	平成17年度の開館以来、人吉城はもとより人吉・球磨の歴史文化を発信する様々な取り組みを行なっている。常設展示については、随時解説を加えたり、市内小中学生の総合学習等にも活用してもらい、地域の歴史文化のより良い理解を促している。特別展示室においては、春と秋の2回の特別展を実施し、職員の研鑽を深めながらリピーターの確保と集客に努めている。春季は「肥薩線の歴史とその魅力」、秋季は「愛郷詩人 犬童球溪」の特別展を実施した。平成23年度の入館者数は13,508人で、前年度より増加している。											
7 平成23年度に実施した方向性からの改善	ポスターの掲示や、展示協力者による外部への周知等により、入館者数が前年度を上回った。											
8 活動指標	指標名			単位	説明			目標値の設定内容				
	特別展・企画展実施回数			回	特別展・企画展の年度当初開催予定数			年度当初開催予定数				
9 成果指標	特別展入館者数			人	前年度特別展入館者数1日の平均値を100%として			入館者数平均(一日) 33人				
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H22年度(実績)	H23年度(実績)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度				
		実績値	2	2	2	2	2	2	2	2		
		<達成度>	<100.00%>	<100.00%>	—	—	—	—	—	—		
	(2) 成果指標	目標値	63	33	46	46	46	46	46			
		実績値	33	46	—	—	—	—	—			
		<達成度>	<52.38%>	<139.39%>	—	—	—	—	—			
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	H20 ~		特別展	637	特別展	939	特別展	1,118	特別展	1,118	特別展	1,118
	総事業費		啓発	257	啓発	189	啓発	189	啓発	189	啓発	189
	千円											
	合計		894千円		1,128千円		1,307千円		1,307千円		1,307千円	
	財源内訳	① 国庫補助金										
		② 県補助金										
		③ 起債										
		④ その他										
		⑤ 一般財源		894	1,128	1,307	1,307	1,307	1,307			
12 活動一単位当たりのコスト	447.0千円		564.0千円									

<p>平成24年度以降の改善 13等を踏まえた事業の内容</p>	<p>市内や周辺町村に博物館相当施設がない中、近年では、観光客の来館が目立ち、入館者の増加につながっている。一方で、人吉城跡ガイダンス施設として、市民の興味関心を引き付けることが難しくなつつある。開館から6年を経過し、平成27年12月に開館10周年となることを見据え、常設展示の全面リニューアル・老朽化した館内設備の更新などとともに、特別展の企画充実を含めた将来的な計画を策定する時期に来ている。</p>		
<p>14 平成25年度以降の事業の方向性</p>	<p>方向性</p>	<p>チェック</p>	<p>左の「方向性」を選択した理由</p>
	<p>①拡大</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p>現状での人員では、特別展に専念できる時間的余裕がなく、充実した内容にすることが厳しい状況にある。まずは現状の予算規模でできるだけのことを実施しながら、施設の独立など今後の方針を模索することとしている。</p>
	<p>②現状維持</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/></p>	
	<p>③縮小</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	
	<p>④廃止</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	
	<p>⑤完了</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	
	<p>⑥移管</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	

学識経験者の意見

- ・ 特別展の企画運営について、課題はあると思われませんが、ボランティア等を募集して実施することはできないでしょうか。ボランティアで一般の方が入ると違う視点が入り、すそ野が広がるのでは。
- ・ 広報等のPRを市民にもより広く行き渡るような工夫が必要ではないでしょうか。
- ・ 夏休みの子ども会の活動の一つに、歴史館で歴史を学ぶことをテーマにするのもいいと思う。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	3	A	

春と秋の特別展は、歴史館へのリピーターや地元住民の集客に効果的な施策であると思われる。次年度以降の企画運営にも更に工夫を重ねながら取り組む必要があると考える。

点検評価シート (評価対象:平成23年度事業)

1 事業名	犬童球溪顕彰音楽祭											
2 担当部課名	市民文化課				担当者名		—					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称				
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし				3	市民芸術・文化の振興と継承				
4 誰のために行うか〔受益者〕	市民、及び音楽祭出場者、並びに観客											
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	音楽祭を通じて、人吉が生んだ音楽家・犬童球溪先生を顕彰し、かつ、人吉市を「音楽の街」としてPRを図るとともに、この音楽祭に参加する大人や子供の演奏のレベルアップに取り組み、街中に音楽が響き渡る街づくりを目指し、人吉市の知名度を高める。											
6 事業の実施内容(平成23年度の進捗含む)	<p>1. 個人コンクール: 小中高校生による独奏・独唱のコンクール。8月の予選には91人の申込があり、41人が本選に望んだ。</p> <p>2. 学校発表会: 人吉球磨郡内の小中高校生による発表会。46校、約1,763人が一堂に会し、日頃の練習成果を披露した。</p> <p>3. 音楽のタベ: 市内音楽団体発表と個人コンクール受賞者の招聘演奏を行った。また、ALT及び一般参加者による「旅愁」の原曲を英語で披露。また、コーラスグループ「フォレスト」のコンサートは、県外からの来訪者も多く見受けられ、非常に好評であった。</p>											
7 平成23年度に実施した方向性からの改善	平成23年度は、第65回の節目の音楽祭となり、個人コンクール、碑前祭、学校発表の部は従来どおりに行った。「音楽のタベ」については、市内合唱4団体が一致団結し「犬童球溪合唱団」を結成し、「犬童球溪合唱団とフォレストが歌う日本の四季」をテーマに、日本の四季の移り変わりを日本唱歌により表現し、「音楽のタベ」のこれからの方向性を導きだせた。											
8 活動指標	指標名		単位	説明			目標値の設定内容					
	音楽祭への参加者、及び集客のためのPR活動		件	参加者・観客の集客活動件数			広報車1日、広報誌・HP・新聞等の掲載を各々1件とカウント					
9 成果指標	出場者及び観客数		人	音楽祭参加者と観客数			過去3年間の最大実績数					
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H22年度(実績)	H23年度(実績)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度				
		実績値	3,450	20	20	20	20	20	20			
		<達成度>	2,873	30	—	—	—	—				
	(2) 成果指標	目標値	3,450	3,450	3,200	3,200	3,200	3,200				
		実績値	2,873	3,460	—	—	—	—				
		<達成度>	<83.28%>	<150.00%>	—	—	—	—				
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	H20 ~		音楽祭	4,224	音楽祭	4,846	音楽祭	4,753	音楽祭	4,753	音楽祭	4,753
	総事業費											
	千円											
	合計		4,224千円		4,846千円		4,753千円		4,753千円		4,753千円	
	財源内訳	① 国庫補助金										
		② 県補助金										
		③ 起債										
		④ その他										
		⑤ 一般財源	4,224		4,846		4,753		4,753		4,753	
12 活動一単位当たりのコスト	1.5千円		161.5千円									

平成24年度以降の改善13等を踏まえた事業の内容	現在、個人コンクールの参加状況が、学校行事、受験勉強等の影響で減少傾向にあり、音楽祭の意義を周知しながら、参加者の確保に努めたい。また、「音楽の夕べ」については、「球溪合唱団」を核とし、テーマを設定し、市民の皆様が楽しめる温味のある、人吉ならではの「音楽の夕べ」としたい。		
14 平成25年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input type="checkbox"/>	この音楽祭は、これまでの長きにわたり、犬童球溪先生の偉業を顕彰する目的で、音楽を通じて語り継がれている事業である。 個人コンクールについては、これまで著名な音楽家を輩出しているものの、現在、参加者は学校行事・受験等で減少の傾向にある。今後は、特に中学、高校生の参加を呼びかける必要性が生じている。また、5年に一度、記念音楽祭を開催しており、ゲストの報償費・手数料が若干増えるものと見込まれる。 しかしながら、今後、この音楽祭は、犬童球溪先生の偉業を発信するとともに、人吉市が音楽を通しての街づくりを目指すことも可能であり、人吉市の秋の風物詩として、後世に語り継がれる事業としたい。
	②現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
	⑥移管	<input type="checkbox"/>	

学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> 一般市民の合唱への参加希望が多くなってきています。早目に郡市民に一般公募を実施し、「犬童球溪合唱団」を結成してほしいと思います。合唱の練習の中でお互いの絆を作りあえば、市民の参加も増えていくと思われれます。 入場整理券が広く市民の手に入る工夫をしてほしい。素晴らしい企画をたくさんの郡市民の方に味わってほしいと思います。学生時代のいい思い出となっている。 小中学校において、この音楽祭を目標にする学校、児童生徒が多数いることが、この事業の成果でもあります。秋の運動会から春の運動会に変わり、秋の学校の目標の一つとして取り組んでおられます。 音楽の夕べにおいては、23年度は好評であったが、入場者の数がもう少し多くても良かったのではないかと思います。今後は内容を市民に周知すべき対策が必要ではないでしょうか。 個人コンクールの在り方については、今後検討を行う必要があるのでは。審査員に対する経費の問題、予選・本選を行う必要があるのか。
----------	--

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	3	A	
65年の伝統ある後世に語り継がれるべき音楽祭である。参加者を増やし、事業を更に発展させるために、コンクールの内容や「音楽の夕べ」への集客方法等を検証していく必要がある。						

点検評価シート (評価対象:平成23年度事業)

1 事業名	図書館まつり														
2 担当部課名	市民文化課						担当者名			-					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称						
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし					1	社会教育の推進						
4 誰のために行うか〔受益者〕	一般市民・来館者														
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	利用者に対し、図書館所蔵資料の紹介及び各種事業の成果等を活用したイベントを実施することによって、図書館の更なる利用促進、読書活動の推進につなげる。														
6 事業の実施内容(平成23年度の進捗含む)	平成24年2月25日～26日に開催した。内容としては、平成24年10月～11月に募集した読書感想画コンクールの優秀作品表彰式と応募作品の全点展示、劇団パレットによる人形劇「シンデレラ」の公演、大型絵本の展示、ブックリサイクル、年間貸出ベスト10の紹介等をおこなった。結果、市図書館所蔵資料の紹介及び活動の広報、更には優良図書の紹介・情報の提供につながり、更なる図書館利用の働きかけをおこなうことができた。														
7 平成23年度に実施した方向性からの改善	読書感想画コンクールにおける優秀作品の表彰数を増加した。結果、園及び保護者の関心が高まり、来館者促進につなげることができた。														
8 活動指標	指標名			単位		説明			目標値の設定内容						
	図書館まつり参加者数			人		催し物の参加者数			当該年度参加者数						
9 成果指標	年間利用者数			人		人吉市図書館年間利用者			平成19～21年度平均値(H22目標)を基準とし、毎年基準値を2%づつ増加						
10 指標値	(1) 活動指標	目標値		H22年度(実績)		H23年度(実績)		H24年度		H25年度		H26年度		H27年度	
		実績値		230		230		250		250		260		260	
		<達成度>		<100.00%>		<108.70%>		-		-		-		-	
	(2) 成果指標	目標値		23,088		23,549		24,019		24,499		24,988		25,487	
		実績値		21,499		24,555		-		-		-		-	
		<達成度>		<93.12%>		<104.27%>		-		-		-		-	
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	
	H20 ~		事業費	188	事業費	178	事業費	237	事業費	237	事業費	237	事業費	237	
	総事業費														
	千円														
	合計		188千円		178千円		237千円		237千円		237千円		237千円		
	財源内訳	① 国庫補助金													
		② 県補助金													
③ 起債															
④ その他															
⑤ 一般財源		188		178		237		237		237		237			
12 活動一単位当たりのコスト	0.8千円			0.7千円											

平成24年度以降の改善 13等を踏まえた事業の内容	市図書館では、図書館利用を促進する目的で、図書館まつりの他、七夕お楽しみ会、クリスマスお楽しみ会、子ども読書フェスタ等、各種イベントを一年を通じ実施している。おおむね子どものイベントであるため、大人の方にも楽しんでいただけるような内容もあわせて企画し、図書館の利用向上につなげていきたい。		
14 平成25年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input type="checkbox"/>	図書館の利用促進を進める上でイベントは、欠かせない手段である。予算、スタッフ、窓口業務と並行した開催を考慮するならば、イベント回数を今以上に増やしたり、拡大することはむずかしい。現状の規模を維持し、時代に合ったメニューの企画、内容の充実を図りながら図書館の利用促進につなげていきたい。
	②現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
	⑥移管	<input type="checkbox"/>	

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の利用促進を図るために、子どもを対象とした事業を実施すれば、親もついてくるし良いことであると思います。 ・ 利用者の数では判断に苦しむ事業内容と考えます。まずもって施設自体の便の悪さを一番にあげます。2階の奥の狭いことです。 ・ 生涯学習という観点から、子どもから高齢者まで利用しやすい施設であり、イベント等で利用者を確保するのではなく、必要とする施設でなければならないと思います。 ・ 足の不自由な高齢者の方々にも読書をして頂きたいと思っております。 ・ 活字離れが心配されている現在において、図書館の利用促進を図る一つ的手段としてイベントを実施するのは今後も必要とされる。図書館に親しみを持ってもらうきっかけになるので評価できると思う。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	4	A	
<p>図書館まつりは、施設の利用促進に加えて、子どもが読書に親むきかけ作りとしても有効な事業であると考えます。今後は、生涯学習施設という観点からも時代に合った企画により、対象を子どもから大人まで広げられるような利用促進事業を行っていく必要がある。</p>						

【教育方針】

《人吉市教育基本方針》

本市は、「市民が様々な可能性を追求することができ、かつ、美しい自然や歴史を未来に継承しながら、活気と賑わいに満ちた健康で笑顔で暮らせるまちづくり」を目指しています。本市教育は、この理念のもと、豊かな人間性と創造性・国際性を備えた人材の育成を目指すとともに、たくましく生きる力を育む教育を推進します。

このため、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に連携協力しながら、社会状況の変化に対応する教育の向上に取り組むとともに、市民一人一人が自ら学ぶ意欲を養い、心身ともに健康で豊かな人生を送ることができる生涯学習社会の実現を目指します。

＜人吉市教育目標＞

- 1 市民が、生涯にわたって自発的に学び、芸術・文化・スポーツ等に親しむことを通して、生きがいを持って生活できる学習環境の整備を推進します。
- 2 家庭の自主性を尊重しながら、子どもたちの基本的な生活習慣や感性を育む家庭教育を支援する取り組みを推進します。
- 3 子ども一人一人の個性を尊重してその能力を伸ばし、個人として、社会の一員として生きる基礎となる「知・徳・体」の調和のとれた力を育む学校教育を推進します。
- 4 豊かな自然とそれを背景に培われた歴史と文化を守り、活用に努めるとともに、人吉市民としての誇り、郷土を愛する心を育む教育を推進します。

各課の努力目標			
<p>[教育総務課]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 安全で良好な教育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全・安心・快適な教育環境の整備促進 ○ 災害時避難場所としての安全確保 2 学校施設の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ○ 休校施設の利活用 ○ 学校林の廃止に向けた検討・協議 3 児童生徒の安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ○ こども王国保安官による見守り活動の支援 ○ 地域ぐるみでの子どもの安全確保 4 学校予算執行の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ○ コスト意識の徹底と効率的な予算執行の推進 5 教育目標、各具体的施策の実効ある推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育振興基本計画の策定 ○ 教育委員会の活発な議論の機会確保 ○ 教育委員会の事務に関する点検評価の充実 6 利用しやすい奨学金制度の提供 <ul style="list-style-type: none"> ○ 経済的理由による就学困難者に対して利用しやすい奨学金の提供 	<p>[学校教育課]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「確かな学力」の育成 <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎・基本の徹底と「活用力」を育てる授業づくり ○ 言語活動の充実とICT機器を効果的に活用した指導方法の工夫 ○ 指導と評価の一体化と学習意欲の向上 2 豊かな心の育成 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「命を大切に」を根底に置いた人権教育及び道徳教育の充実 ○ 「活力」を育てる生徒指導の充実とキャリア教育の推進 ○ 「ふるさと感」を育てる郷土教育の推進 ○ 読書の習慣化と図書館教育の充実 3 たくましい身体の育成 <ul style="list-style-type: none"> ○ 発達段階に応じた体力向上の推進 ○ 健康・安全・防災教育の充実 ○ 食育の推進 4 特別支援教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 機能する支援体制の整備 ○ 指導方法の工夫・改善とその共有化 5 学校・家庭・地域社会の連携とその推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 幼・保・小・中のなめらかな接続と連携強化 ○ 地域ボランティアの学校支援の充実 6 教育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ○ 潤いのある教育環境の整備 ○ 学校環境美化の徹底 ○ 学校版環境ISOの一層の推進と環境教育の充実 	<p>[社会教育課]</p> <p>(生涯学習)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校・家庭・地域社会の連携と教育力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ○ 校区公民館を核に、地域と一体となった子どもの健全育成 ○ 学校支援地域本部事業等、地域で学校運営を支援する体制の整備とその普及 2 家庭の教育力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭教育に関する情報提供及び学習や相談の機会の提供と充実 ○ 地域における家庭教育に対する支援体制づくりの推進 3 校区公民館活動の支援と連携 <ul style="list-style-type: none"> ○ 公民館(コミュニティセンター)事業の充実 ○ 公民館運営能力向上のための研修機会の充実 4 学習機会と情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ○ 成人、子どもを対象とした講座や教室等の充実と学習成果の活用場の提供 ○ 公民館や学校・社会教育関連施設・機関・団体との連携 ○ 生涯学習人材バンクの構築と活用推進 ○ 広報や市のホームページ等を活用した情報提供の推進 5 社会教育施設の整備・充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 公民館(コミュニティセンター)施設の整備・充実 ○ その他の社会教育施設の整備充実と利用促進 6 社会教育関係団体への支援及び連携の強化 <ul style="list-style-type: none"> ○ 各団体との連携強化と自主運営の育成 7 社会人権教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭や地域における人権教育の推進 ○ 研修会や啓発活動の充実 8 社会教育委員活動の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域における社会教育委員の主体的な活動の推進 ○ 教育活動における社会教育委員会議の積極的な活用 	<p>[歴史遺産課]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域力となる歴史遺産群の保存活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ まちづくりのシンボル、人吉城の整備の推進 ○ 楽しく安全に見学できる大村横穴群の保存整備の推進 ○ 新たな歴史遺産の調査による指定・登録の推進 ○ 国宝・重要文化財等建造物の保存活用支援 ○ 文化財広域連携による「相良歴史回廊」の推進 2 教育力・観光力となる人吉城歴史館運営 <ul style="list-style-type: none"> ○ 魅力ある常設展示・企画展示の推進 ○ 学校と連携した児童・生徒の歴史学習の拠点づくり ○ 市民歴史学習の推進 ○ 人吉球磨の歴史遺産情報の発信基地づくり ○ 地域観光との連携推進 <p>[市民文化課]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 カルチャーパレス施設運営の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 快適で安全な利用のための施設環境の維持保全 ○ 来館者へのきめ細やかなサービスの提供 2 市民文化力の創造 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自主文化事業等を通じた文化芸術の振興と地域文化の醸成 ○ 犬童球磨顕彰音楽祭によるみんなが楽しめる音楽づくりと若手音楽家の育成 ○ 地元芸術の熟成と参加圏域の拡大による人吉球磨総合美展の充実 ○ 郷土愛を育む文人偉人顕彰事業の推進 ○ 人吉文化協会の自立支援 ○ 市民文化・芸術活動の創出支援と発表の場の提供 3 図書館事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ 来館者に対するサービス向上 ○ 子ども読書活動の推進 ○ インターネットによる蔵書検索システムの利用拡大 ○ 郷土に関する資料の収集・充実 ○ 移動図書館による図書利用の拡大 ○ 広報活動の推進 ○ その他読書活動の推進
<p>(スポーツ振興)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市民の健康及び体力づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 市民の健康増進を図るための各種スポーツ教室等の開催 ○ 体力づくり事業の実施及び市民体育祭の充実 2 生涯スポーツの普及・振興 <ul style="list-style-type: none"> ○ 市民誰もが取り組めるスポーツ・レクリエーションの普及・振興 ○ 市民のスポーツニーズに対応するための指導体制の充実 ○ 総合型地域スポーツクラブの育成・推進 ○ アドベンチャースクール事業の充実 3 スポーツ団体の育成 <ul style="list-style-type: none"> ○ NPO法人人吉市体育協会を始めとした各種団体による研修会、講習会やスポーツ教室開催等の支援 ○ 競技人口の増加と競技力向上 ○ スポーツ少年団の育成と活動活性化 4 スポーツを通じた交流推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 行政・市民・地域が連携した各種スポーツイベントの開催及び誘致 ○ 第10回ひとよし春風マラソン大会の成功に向けた取り組み(記念大会) 5 スポーツ施設整備と利用推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定管理者の効率的、効果的な施設の管理運営 ○ 中・長期的な視点に立った老朽化施設改修や長寿命化計画の策定 ○ 多目的運動広場の整備に向けた取り組みの推進 			